

新潟県小中学校教頭会

会報

No. 177

目 次

●会長あいさつ	1
●副会長あいさつ	2
●本部役員紹介	3
●県教頭会ブロック別研究大会に向けて	4～5
●専門部の活動	6
●郡市教頭会ネットワーク	7
●新入会員の声	8～9
●随想	10



「プラス1」の気概と創意工夫で 「チーム教頭会」の推進を

新潟県小中学校教頭会

会 長 五十嵐 功

(上越市立稲田小学校)

平成 27 年度、新潟県小中学校教頭会の会長を務めさせていただくことになりました。微力ではありますが、会員の皆様から御支援、御協力をいただきながら、当会の充実と発展に向け、精一杯取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、平成 25 年度より動き出した教育改革は、これまでに比べ短時間のうちに次々と答申が出されるなど、具体化に向けた動きが活発化しています。「いじめ防止対策推進法」の制定、新たな教育委員会制度での「総合教育会議」の設置、小中一貫校の制度化、道徳の教科化、英語教育の早期化・高度化、大学入試改革の検討などが進められています。また、教育再生実行会議が 5 月に行った「これからの時代に求められる資質・能力と、それを培う教育、教師の在り方について」の第七次提言では、これからの時代を生きる子どもたちを育てる教員についても、専門職として教育活動に専念できるように、事務職員、心理や福祉の専門職など、多様な専門性や経験を有するスタッフの配置による「チーム学校」の指導体制の整備が示されています。

私たち教頭は、教育改革の流れを的確に捉え、校長の指導を受けながら、日々の教育活動に目を配り、職員間の協働性と同僚性を高めていくことに最大限の力を注ぐことが大切です。そして、教職員が職層に応じ、個々の力が発揮できる組織づくりと環境づくりを充実させ、「チーム学校」を推進していかなければなりません。

新潟県小中学校教頭会は、小中学校教育の発展を目指し、研究活動を中核に据え、会員相互の交流を重視した活動を推進することを基本方針として、今年度は次の 3 点を重点として取り組みます。

- 1 全公立学校教頭会第十期の研究主題「豊かな人間性と創造性を育む学校教育（キーワード生き抜く力・絆づくり）」を受けて設定した当県独自のサブテーマ「生涯にわたって能動的に学び続ける子どもを育む学校づくり」の 2 年次として、昨年度の全県研究大会の成果と課題を踏まえ、今年度のブロック別研究大会に確実に結び付くよう研修を進めます。
- 2 郡市教頭会の一部地区の区割りの見直しを検討し、会員同士の交流と連携を深め、充実した組織活動と効果的な会務運営を進めます。
- 3 平成 29 年度の全県研究大会（上越大会）と平成 31 年度に開催予定の関東甲信越地区公立学校教頭会研究大会に向けて、資料の収集と計画・準備を着実に進めます。

昨年度、新潟県小中学校教頭会は 50 周年を迎えました。今年度は、51 年目として、これまで長い年月をかけて歴代役員をはじめとする諸先輩方が積み上げてこられた歴史と伝統を受け継ぎ、「プラス1」の気概と創意工夫をもって、「チーム教頭会」として、活動及び研究を一層充実したものにしていきたいと思います。



「横の糸と縦の糸」

副会長 西 條 敏 一
(上越市立春日新田小学校)

今年度、副会長を務めさせていただきます。微力ではありますが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願いします。

さて、先般5月22日に代議員会が開催され、今年度の方針や具体的な取組が話し合われました。

特に

○児童生徒が生き生きと学べる学校教育の実現

○組織活動強化

○研究活動の充実 が焦点となりました。

それら全て、目の前の子どもたちの成長やそのための充実した学校運営のためであることは間違いありません。日々激務で忙しい教頭職です。学校に一人しかいないため、相談することも難しいと思います。そこで、私たちは、横の関係をぜひ充実させていきたいと考えます。市町村の教頭会、そしてブロックごとの教頭会と、たくさんの方とのコミュニケーションがきっと効率的であり、多様な考えが生まれます。また、各校の教頭と職員との関係づくりが、学校教育の充実には欠かせません。教頭職は、組織を動かすことが仕事です。横の糸と縦の糸を紡ぐことでしっかりと学校づくりが実現できます。どうぞよろしくお願いします。



「笑顔の職員室」

副会長 黒 田 茂 男
(長岡市立表町小学校)

教頭職に求められる役割は多岐にわたっています。その一つに「職員室の雰囲気づくり」があります。校内の情報を素早く的確に集めるためには、風通しの良い雰囲気と人間関係が必要です。当然、私たち教頭職にはコミュニケーション能力が求められます。一概にコミュニケーション能力と言ってもどのようなものなのでしょう。

「学校へ行こう」「空飛ぶグータン」など、数多

くのヒット番組を手がけた「対談の名手」とも評される「おちまさと」氏は、著書「相手に9割しゃべらせる質問術」の中で、数多くの失敗談やその方法について語っています。「(前略)人はちょっとした目の動き、手の動かし方、姿勢などから非言語情報を出しています。文章の行間のように人にも行間があるのです。」難しいですが努めたいものです。

コミュニケーションスキルは、一朝一夕に高められるものではありませんが、明るい職員室づくりのため、私たち教頭は尽力しなければなりません。

今年度、五十嵐功会長の下、県教頭会の発展のために精一杯努力していきたいと思います。よろしくお願いいたします。



「おかげさまで」

副会長 中 野 民 生
(新潟市立木戸中学校)

昨年度は、新潟県小中学校教頭会会報の編集に携わる機会をいただきました。多くの先生方から執筆していただいた原稿と、広報部員のご尽力により、広報部長としての任を無事果たすことができました。特に50周年記念全県研究大会に関わって、研究部の思いを会員一人一人に浸透させ、関係諸団体に向けて当会の活動を積極的に発信できたことが最大の成果でした。関係の先生方ありがとうございました。

私自身としては、本部役員会や理事会・代議員会に出席することで、会務や郡市のネットワークの大切さについて学ぶことができました。また、会務を運営する事務局のご苦勞を身近に感じることもできたことにたいへん感謝しています。

さて、今年度は副会長を務めさせていただくことになりました。会務の運営や関係団体との連携等では、まだ十分に理解できていないことも多くあります。しかし、第1回理事会・代議員会での五十嵐会長の『+1(プラス・ワン)で!』という言葉を中心に留め、励みにし、半世紀を超え+1年目を歩み始めた新潟県小中学校教頭会の、ますますの発展のために、微力ではありますが、前向きに精一杯取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

平成27年度

本部役員紹介

(役職・氏名・現任校)

本部役員



幹事長
小林 秀智
(上越・中保倉小)



会計幹事
中嶋 里子
(糸魚川・磯部小)



地区庶務幹事
石田 永
(上越・大潟町小)



地区庶務幹事
佐藤 昌弘
(長岡・千手小)



地区庶務幹事
齋藤 淳
(新潟・曽根小)



地区庶務幹事
石田 雄介
(五泉・川東小)



調査要請部長
宮本 透
(新潟・江南小)



広報部長
野崎 真二
(上越・国府小)



研究部長
小島 隆宏
(上越・南本町小)



教育課題部長
星 徹
(長岡・東中)

監査役員



会計監査
佐藤 秀樹
(柏崎・松浜中)



会計監査
山崎 勝之
(長岡・川崎小)



会計監査
竹内 邦彦
(新潟・東曽野木小)

事務局



事務局
脇屋 雅実

平成27年度
各種大会日程

- ①第57回 全国公立学校教頭会研究大会 静岡大会 → 〈7月29日(水)~31日(金)〉
- ②第51回 新潟県小中学校教頭会研究大会・第9回ブロック別大会 → 〈10月30日(金)〉
- ③第56回 関東甲信越地区公立学校教頭会研究大会 山梨大会
→ 〈11月12日(木)~13日(金)〉
- ④第40回 全国公立学校教頭会中央研修大会 → 〈2月10日(水)〉

第51回 新潟県小中学校教頭会研究大会に向けて (第9回 県教頭会ブロック別研究大会に向けて)



研究部長 小島 隆 宏
(上越市立南本町小学校)

51回目の研究大会に向けて

平成27年度、県教頭会の研究部長を務めることとなりました、上越市立南本町小学校 小島 隆宏と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

村川潤一前研究部長から引継ぎを受けたのは、5月7日(木)でした。引継ぎの際に手渡されたファイルの厚さに圧倒され、仕事内容の難しさに圧倒され、村川前部長の仕事ぶりに圧倒され、「果たして自分に研究部長が務まるかどうか?」と心配になりました。しかし、せっかくいただいた機会ですので、自分なりの持ち味を出し、気持ちも新たに51回目の研究大会に向けて取り組んで参ります。

今年度は、10月30日にブロック別研究大会を開催します。平成26年度の研究テーマを受けた2年次研究となり、6課題14分科会に分かれて研究発表及び協議が行われます。

第十期の全国公立学校教頭会統一研究主題の1年次研究の成果と課題を踏まえて、それを生かした研究大会となるよう、各提言者が単位教頭会での組織的な取組のもとに提言発表の準備を進めていってほしいと思います。そして、それぞれのブロックごとに、本番に向けてより分かりやすく、主張が明確になるように提言や原稿の検討が行われることを期待しています。

1 研究主題

「豊かな人間性と創造性を育む学校教育」
(全国公立学校教頭会第十期全国統一研究主題)

2 サブテーマ

～生涯にわたって能動的に
学び続ける子どもを育む学校教育～
二年次研究

3 大会の趣旨

全国公立学校教頭会第十期全国統一研究課題「豊

かな人間性と創造性を育む学校教育」のもと、新潟県の今日的な課題を踏まえたサブテーマ「生涯にわたって能動的に学び続ける子どもを育む学校づくり」を追究する第十期の研究が二年次を迎えます。

本大会は、第十期の二年次として「研究課題の焦点化」「研究の協働性の充実」「教頭の関与性の明確化」をさらに充実させ、一人一人が大会に主体的に参加し、各学校及び各教頭会でなされた取組について協議、互いの実践から学び、成果と課題を共有し、教頭としての資質向上をめざす大会です。

また、ブロック別開催により得られる効率的な大会運営、研究課題の焦点化、研究の協働性の充実を図っていきます。

4 期 日

平成27年10月30日(金) 午後開催の予定

5 分科会(6課題14分科会)

【上越ブロック】

課題番号と課題	提言教頭会
2B 子どもの発達に関する課題(中学校)	上越市教頭会
4A 組織・運営に関する課題	柏崎市刈羽郡小中学校教頭会
5A 教職員の専門性に関する課題(小学校)	糸魚川市教頭会

【中越ブロック】

課題番号と課題	提言教頭会
1B 教育課程に関する課題(中学校)	加茂市・南蒲原郡小中学校教頭会
2A 子どもの発達に関する課題(小学校)	三条市小中学校教頭会 全国 関ブロ
4 組織・運営に関する課題	長岡市三島郡小・中・総合支援学校教頭会
5 教職員の専門性に関する課題	魚沼市小中学校教頭会
6 教頭の職務に関する課題	南魚沼郡市教頭会

【下越Aブロック】

課題番号と課題	提言教頭会
4 組織・運営に関する課題	新潟市小学校教頭会
2 子どもの発達に関する課題	新潟市中学校教頭会
5B 教職員の専門性に関する課題(小学校)	佐渡市中学校教頭会 関ブロ

【下越Bブロック】

課題番号と課題	提言教頭会
1A 教育課程に関する課題(小学校)	新発田市・北蒲原郡小中学校教頭会
2B 子どもの発達に関する課題(中学校)	村上市岩船郡小中学校教頭会
6 教頭の職務に関する課題	五泉市小中学校教頭会

6 研究の基本方針

全公教の基本方針並びに全国統一研究主題を踏まえ、今年度も次の3点(3C)に焦点を当てた実践的な研究を進めていきます。

- (1) 客観的で継続性のある研究 *continuity*
- (2) 組織的で協働性のある研究 *collaboration*
- (3) 教頭としての関与性を明確にした研究 *commitment*

この3Cを基本方針として、視点を明確にした鋭角的な研究を進め、教頭としての資質向上につなげていきたいと考えています。

7 研究内容について

第十期の研究では、自立・協働・創造、に向けた児童・生徒一人一人の主体的な学びを保障する学校づくりがより重要であると考え、その教育活動の中核となる教頭の在り方を追究するため、サブテーマ「生涯にわたって能動的に学び続ける子どもを育む学校づくり」を設定しました。

新潟県小中学校教頭会では、「生涯にわたって能動的に学び続ける子ども」とは、次のような資質や能力を備えた子どもであると考えています。

- (1) 多様な個性・能力を伸ばし、充実した生活を主体的に切り拓くことができる子ども
→ 「自立した子ども」
 - (2) 個人や社会の多様性を尊重し、共に支え合い、高め合うことができる子ども
→ 「協働する子ども」
 - (3) 自立・協働を通じて新たな価値を作り出すことのできる子ども
→ 「創造する子ども」

これからの激動の社会を生き抜く子どもたちには、自ら考え、多様な人々と協働しながら主体的に課題を解決し、新たな価値を創造する力が求められています。このような力を育むために、学校・家庭・地域の連携をさらに促進し、協働型・双方向型の新しい学びへと移行させていかなければなりません。

また、一層学校内外の様々な知恵・資源を取り入れていくことにより、学校の在り方を児童生徒の教育の場であると同時に、多様な人々が集まり、協働し、創造する学びの拠点として進化させていくことが期待されています。

よりよい方向を目指した教育課程・教育活動の改

善と充実、教師の資質・能力、指導力の向上に取り組んでいきましょう。そして、学校が保護者や地域社会と協力・連携し、ともに歩んでいきましょう。

学校づくりの中核となり、校長を補佐しながら学校運営を推進し、職員に対してリーダーシップを発揮していくことが教頭の職務であり責務です。新潟県小中学校教頭会は、組織的・協働的に、教頭のあり方を鋭角的にかつ多面的に追究し続けていきたいと思っています。

8 実践の窓口

サブテーマ「生涯にわたって能動的に学び続ける子どもを育む学校づくり」の追究のために6つの窓口を設定しました。私たちの研究は、新潟県・新潟市の課題をしっかりと受け止め、自校の抱えている課題を把握し、その解決を図ることが目的です。

課題を解明する実践においては、教頭の職務内容に焦点付けた視点が必要です。そこで、「全公教の内容例・視点例」を参考に理事会や代議員会において、6つの窓口と新潟県小中学校教頭会としての実践の視点を説明しました。(実践の視点はあくまでも例示であり、各単位教頭会において追究していく内容を絞り込んで実の上がる研究を推進してください。)

----- お 願 い -----

(1) ブロック別研究会では、全教頭が参加分科会・グループ協議に主体的に参加するようお願いします。会員一人一人が、研究大会のより一層の充実を目指し、大会要項の精読・協議の柱の確認などを行ってください。

(2) 平成28年度の新潟県小中学校教頭会の研究大会も4つのブロック別の研究大会になります。

27年度中に、各地区の庶務幹事を中心に、関係各郡市教頭会長や単位教頭会ごとに平成28年度の研究大会の組織作りを確実に進めていただきたいと思います。

また、29年度は、上越市を会場に、全県大会が開催されます。計画的な研究推進をお願いします。



専門部活動報告



教育課題部の活動

教育課題部長 星 徹
(長岡市立東中学校)

新潟県の「最重要教育課題」の解決に向けて、教頭として、どう取り組むべきかを示していきます。具体的には、先にご協力いただきました教育課題アンケートの集約結果の分析を通して行います。

第十期全国統一研究主題「豊かな人間性と創造性を育む学校教育」の全国共通研究課題に沿ってアンケートを作成しました。『研究の手引き』（全国公立学校教頭会）を基に、サブテーマ追究の窓口と実践の視点の選択肢を検討しました。

今年度は、第51回新潟県小中学校教頭会研究大会各ブロック別研究大会に向け、現在の会員が抱える問題に焦点付け、調査を実施します。会員の取組・実践のアンケートの項目を精査し、課題解決に向かいながら有効な方策がなく困っている内容を明らかにすることを通して、来年度以降の教頭会の課題・研究の参考資料としたいと考えました。

回答いただいた内容は、今後、教育課題部で集約・分析し、県小中学校教頭会のホームページや年度末発行の『教頭の勤務実態調査及び教育課題意識調査』（調査要請部と合同作成）でご覧ください。



調査要請部の活動

調査要請部長 宮本 透
(新潟市立江南小学校)

調査要請部では、次の2つの事業を柱に活動を展開します。

- 1 勤務実態調査(本県独自)及び全国公立学校教頭会個人調査実施と報告書の作成
- 2 「平成28年度新潟県義務教育の振興に関する要望書」の基礎資料作成のための調査実施と意見報告書作成

昨年度末に発行した報告書「教頭の勤務実態調査」によれば、7時以前に出勤している会員の割合は31.9%、20時30分以降に退勤する割合は24.4%でした。これは年々増加傾向にあります。この厳しい実態を関係機関に訴え、全公教とも連携して勤務条件の改善につなげていきたいと考えています。

10月には、8月下旬に県校長会から示される「県義務教育の振興に関する要望書」の要望事項に合わせ、アンケート調査を実施します。私たち県教頭会の要望が次年度に反映されるよう、会員の皆様の忌憚のないご意見をよろしくお願いします。



ネットワークが広がり、深まる広報活動を

広報部長 野崎 真二
(上越市立国府小学校)

昨年度、第50回記念全県研究大会を無事終了し、今年度は、全県の会員が一堂に会する機会はありません。したがって、情報交換の場としての会報の重さをあらためて感じています。各郡市の特色ある取組や会員皆様の思い、各ブロック大会の紹介を中心に会報を構成し、その役割を果たしたいと考えます。

177号…本部役員の紹介と挨拶、各ブロック大会に向けて、専門部の活動予定、新入会員の声、郡市教頭会の紹介、随想

178号…各ブロック大会に向けて、全公教静岡大会参加報告、新入会員の声、郡市教頭会の紹介、特集（胎内市）、随想

179号…各ブロック大会の報告、関ブロ参加報告、郡市教頭会の紹介、専門部活動報告、特集（魚沼市）、随想、教育懇談会報告

今年度の「特集」は、県の喫緊の課題のひとつである『キャリア教育』について、特色ある取組を胎内市小中学校教頭会と魚沼市教頭会から紹介していただく予定です。

会員の皆様からは、お忙しい中、原稿執筆等に御協力いただかなくてはなりません。趣旨を御理解いただき御協力いただきますようお願い申し上げます。

都市教頭会ネットワーク



「温かい学級づくり」支援事業と教頭の役割 ～教頭会における温かい関係づくりから～

魚沼市小中学校教頭会

猪 又 力

(魚沼市立守門中学校)

魚沼市小中学校教頭会は、小学校 9 校、中学校 6 校の 15 校で組織されています。年 3 回の定例教頭会では、教頭としての資質の向上を目指し、以下の取組を進めています。

<定例教頭会の主な内容>

1 春季総会（5 月）

事業計画・研修計画の検討や教育委員会指導主事による指導、5 中学校区単位での情報交換を行いました。

2 秋季総会（10 月）

県教頭会ブロック研究大会での発表に向けた内容の検討や準備の確認を行います。

3 年度末総会（2 月）

各種研修大会の報告と事業反省、次年度の方向性について確認します。

また、魚沼市内全小中学校では、不登校児童生徒の減少や学力向上を目指し、平成 26 年度から 3 年計画で、教育活動の基盤である学級づくりに視点を当てた「温かい学級づくり支援事業」に取り組んでいます。当教頭会として、市の事業を全面的にサポートするために、現在、以下の取組を進めています。

<支援事業にかかわる取組>

1 市教育委員会担当指導主事による指導

(1) 支援事業における教頭の役割

(2) Q - U 検査の見方、考え方の研修

2 支援事業「自校プラン」に基づく意見交換と取組についての情報交換

3 外部講師による学級づくり研修会

4 ブロック研究大会に向けた特設研修委員会による報告内容の検討

上記の取組を「研究集録」にまとめ、成果と課題を明らかにして、次年度の取組に反映させていきます。

総勢 15 名の小さな教頭会ですが、情報交換を密にし、温かい人間関係を築きながら、魚沼市の教育を推進していきます。



新生教頭会のネットワーク

村上市・岩船郡教頭会

佐 藤 進

(村上市立山辺里小学校)

村上市・岩船郡教頭会は、今年度組織も名称も新たにしました。これまでは、小学校教頭会、中学校教頭会と別々だったが、昨年一年をかけて、規約を制定し、組織を見直した。

会員数が 33 名となり、会議の日程調整が難しくなったが、大きなメリットが増えた。それは、郡市内全ての小中学校の情報を共有できることである。

村上市岩船郡には、七つの地区があり、その範囲は広い。しかし、教頭会で一同に会することで、学校管理の問題、生徒指導の問題や、各校の特色ある取組などを共有し、自校の学校運営に生かすことができる。

先般行われた研修会では、特別支援、生徒指導に関わる地域リソースマップづくりを、各地区に分かれて実施した。地区によって実態が違い、連携する関係機関も異なる場合が多いが、情報を共有することで、どのような場合に、どの関係機関と連携することができるのか確認できた。また、他地区の関係機関の情報も得ることができ、有意義な研修となった。

また、村上市・岩船郡教頭会では、管理主事訪問で指導された内容を各校でまとめ、事務局を通して全会員に配信することになっている。配信された内容を会員が確認し、次回の管理主事訪問の参考にしたり、現状の改善に役立てたりしている。

今年度は、当教頭会が、下越 B ブロック研究大会で発表予定である。村上市・岩船郡教頭会として行ってきた取組をまとめ、提案することとなる。現在、発表内容の検討会を行っているが、小、中それぞれの視点からの指摘は、発表者にとっても心強く感じられることと思う。何より当教頭会の発表であるという全員の思いが発表者を支える土台となっている。

発足してまだ 3 か月の教頭会ではあるが、連携と協働、創造性を生かし、郡市内の教育を支える会として全会員で発展させていく。



多くの支えを力に変えて 日々努力!

上越市立春日新田小学校

清水 憲子

全校児童810名の大規模校に赴任し、教頭としてだけでなく、大規模校に慣れることにたいへん時間がかかった4月。運動会という大きな行事で全校がスムーズに動く姿に感動した5月。

考えていた教頭の仕事と実際に自分が職務を果たすことには大きなギャップがありました。即判断、すぐ対応、適切なアドバイス等…。本当にこれでよかったのだろうかと自問自答する毎日です。しかし、職員や子どもたちから元気をもらい、保護者や地域の熱心な支えに助けられ、市教頭会の先輩方から温かい声掛けやご指導をいただくことができます。とても恵まれていることに感謝しております。

今年度の重点目標である「認め合い進んで学び合う学年・学級づくり」に向けて、私自身も職員や子どものよさをたくさん見付け、学びながら、教頭としての力量を高めるために日々努力していきます。

新入会員の

声



子ども・地域・職員に 信頼される教頭をめざして

加茂市立須田小学校

藤田 敏樹

「先生、おはようございます。」全校106名の児童全員が、毎朝職員室の入り口から元気な挨拶をしていく。本当にすがすがしい気持ちで、一日を始められる須田小学校で、新任教頭として勤務がスタートした。

3月までは、「藤田先生」だったのに、4月1日から、子どもたちも、同僚の先生も、保護者や地域の方もみんなが「教頭先生、…」と話しかけてくれる。なかなか慣れずに、返事がワンテンポずれてしまう。3月までとそんなに中身は変わっていないのに、教頭として見ていてくれている。「自分は、みんなが期待してくれている教頭としての責務は果たせているのだろうか？」身が引き締まる思いである。

まずは子どもに負けない挨拶から始め、子どもや同僚、保護者や地域の方と心と心をつなぎ、信頼される教頭をめざして日々精進していきたい。



温かな思いを つないでいきます

柏崎市立中通小学校

小池 亜希子

「子どもは地域の宝だからね。」入学式の日の後援会長さんがしみじみとおっしゃいました。新1年生8名のお祝いに20名の来賓が来校される…そんな地域の方の思いあふれる中通小で、教頭としての第一歩を踏み出すことができたことに感謝しています。私自身4月から今までずっと、たくさんの方に支えられた日々でした。締め切りに追われ、あたふたしていると「お手伝いします。」とずっと助けてくれる学校職員。小さな質問にも親身になって答えてくださり、励ましてくださった市教頭会先輩の皆様。たくさんの温かな思いに感謝の気持ちでいっぱいです。

「前を向いていこう」とおっしゃってくださった校長の言葉を心の支えに、まずは中通の子どもたち、学校職員そして地域の方に温かな思いを返していけるよう頑張ります。



よろしくおねがいします

十日町市立松之山中学校

小林 貴英

当校の生徒会スローガンは Positive! Try! Challenge! です。前向きな単語が三つ並んでいます。明るく素直な生徒、そしてこのスローガンから元気をもらって毎日を送っています。

新しい学校と新しい仕事において、年度開始時からこれまで、たくさんの方々からご指導をいただきました。新しい経験により、毎日自分が少しずつ成長しているはずです。心から感謝申し上げます。

単身赴任という新しい生活も始まり、今のところ順調です。週末に家族のもとに帰ると、小学四年生の娘だけが私を大歓迎してくれます。幸せを感じるひとときです。

仕事においても家庭においても、改善の余地はたくさんありますが、前向きな気持ちで進んでいこうと思います。これからお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。



アンテナを高く

見附市立見附中学校

本 間 哉

前任者から多くのことを引き継ぎ、「はたして、うまくやっていけるか。」と緊張した4月。時間があっという間に過ぎて、気が付けばもう夕方という毎日。そんな中でも、職員が常に前向きに生徒に向かい合う姿に勇気付けられ、何とか3か月を乗り切ることができました。

教頭の仕事をを行う中で、以前勤務した校長先生から受けた、「情報は待っていても来ない。自分の足で稼ぎなさい。」の意味がようやく分かってきた気がします。毎朝の校内巡視、生徒への挨拶、職員への声かけ、PTA活動への参加・・・など、自分から目的をもってかかわることにより、多くの情報を得ることができることを実感しています。

アンテナを高くし、様々な情報を集め、円滑に教育活動が行われるよう、これからも研鑽に努めていきたいと思います。

新入会員の

声



佐渡の地で 人事を尽くします。

佐渡市立真野中学校

今 井 量

この度、佐渡市立真野中学校の教頭職を拝命し、新潟県小中学校教頭会の一員となることができました。身の引き締まる思いです。

新造船「あかね」のおかげで、出身地の上越市との行き来が随分楽になりました。

赴任した佐渡は、自然が豊かで景色が美しく心が洗われます。人も穏やかで時間もゆっくり流れているようですが、少子化やSNSの影響など、時代の波は確実に押し寄せています。そんな地で、これまでの経験や培ってきた力を発揮していきたいですし、「新しい風」の役割も果たしていけたらと思っています。

4月当初から、先生方からの質問や指示について迷うことばかりですが、先輩の先生方のことを思い出し、日々勤めています。

まだまだ分からないことばかりですが、座右の銘である「人事を尽くし天命を待つ」とおり、精一杯勤めて参ります。ご指導よろしくお願いします。



「新たな課題と 挑戦に向けて」

阿賀野市立水原中学校

丸 田 磨 里

4月1日、校舎移転新築2年目の水原中学校と共に教頭として新しい生活が始まりました。素晴らしい校舎とそれに負けないエネルギーを持った生徒たちに囲まれ、ワクワクとした高揚感の中で日々を過ごしています。ここまでの2ヶ月間は慣れない業務と連日の締切に追われ、全力疾走の日々でありました。しかし、疲れた顔はしてられません。元気が取り柄の私ですから、何があっても、明るく爽やかに対応しようと心に誓っています。

まずは子どもたちのため、そして、保護者・地域のため、さらに、教職員のために役立つよう、教頭として自分磨きの努力を続けなければと感じています。教務室、学校、地域を広く見渡し、今なすべき事を感じながら、調整することが課題です。阿賀野市の子どもたちと学校の発展に寄与できるよう挑戦を続けます。



前を向いて走るのみ

胎内市立中条中学校

吉 田 和 則

雄大で豊かな自然や地域の資源を活用したグリーンツーリズムが推進されている胎内の地で、新任教頭として教育活動をスタートしてから、はや3ヶ月が経ちました。

生徒のために惜しみない努力で日々の教育活動を進める教職員や温かく協力的な保護者や地域の皆様。その愛情を受けて成長してきた中条中生徒は、本当に素直で爽やか、どこに出しても恥ずかしくない生徒たちです。その生徒たちが輝くために、日々の教頭の職務に没頭する毎日です。新任で先の見通しがもてず、日々仕事に追われていますが、自分ができる最大限の努力で丁寧な仕事を心がけております。

生徒、保護者、地域から信頼される学校づくりという、はるか遠いゴールではありますが、常に前を向いて全力で走り続けます。

随 想



六日町が生んだ、二人の英雄

南魚沼市立六日町小学校

五十嵐 哲也

2009年、NHK大河ドラマ「天地人」の主人公・直江兼続は坂戸城下で、その主君・上杉景勝は坂戸城で誕生しました。その坂戸城があった、標高634mの坂戸山は、清流・魚野川をはさんで、六日町小学校の目の前にそびえています。子供たちのいる教室からは、魚野川と坂戸山を一望することができます。

二人が掲げたのは、正義・信義の「義」と、思いやり・情けの「愛」です。自分なりの考えをもち、信念を貫いた景勝、人のための心の広さと温かさをもった兼続、二人の人柄は現代にも通じるものがあります。学校という小さな社会では、10年後も20年後も信頼される人になるように、子供たちを指導していくことが大切です。当たり前前（あたりまえ）のことを当たり前前（あたりまえ）にできるようにする、ならぬものはならぬことを教えていくことが、私たち大人、教師の責務だと思います。二人の「義と愛」は、まさしくこの思いを表しています。六日町小学校では、子供たちに分かりやすいように、オリジナルキャラクターとともに、「六小の義と愛」として、校舎内に掲示しています。



子供たちが、「六小の義と愛」を実践できれば、どんなに素敵な学校、素敵な社会になることでしょう。二人の英雄のような子供たちが、六日町小学校に、南魚沼市に増えていくことを願うとともに、教頭として力を注いでいきます。



5年後を思い描きながら

阿賀町立鹿瀬小学校

小 野 裕 子

教職に就いて10年を過ぎた頃、日々の授業の中で、「もっと力を付けたい、専門を深めたい」という気持ちが膨らんでいった。教職10年目は、教員人生の4分の1にあたり、私は、同時期である平成14年に大学院への進学を選択した。

大学院では、校種を超えて、現職教員の仲間とともに学ぶことができた。入学してまもなく、民間企業の研修担当として「職業指導」を学んでいたAさんと出会った。彼女は、現職教員である私たち全員に「5年前は、5年後の自分が大学院で学ぶことを想定していましたか」と質問した。なぜ、そのような質問をするのかを尋ねたところ、「教員のキャリア形成に関する研究や論文を目にすることがありません。研究は、ほとんど進んでいないと思います。子どもへのキャリア教育は、進んできたけれど、教員のキャリア形成に対する意識は、醸成されているのですか」と聞き返された。正直、返答に困った。自分自身を振り返ってみると、大学院入学の4年前、第3子を出産した直後に、「数年したら、自分にかかる時間を生み出していこう」と漠然と考えていたことを覚えている。キャリア形成などと大それたことを考えたわけでない。しかしながら、今思えば進むべき方向はどこかと自問自答し、「生き方」を考えていた時期だったのかもしれない。

さて、教頭職について3年目、今の私は職員のキャリア形成に貢献できているのだろうか。研修の機会を準備しているか、ライフプランに適切なアドバイスができているのかと問うてみる。「キャリア形成の基本は、『5年後は、どうなっていたいか』をつねに思い描きながら職能を磨くこと」というAさんの教えを思い起こしながら。

新潟県小中学校教頭会

〔事務局〕

県教頭会ホームページ

全国公立教頭会ホームページ

〒950-0911 新潟市中央区笹口2丁目7-17 和田ビル2F

E-mail n-kyotoh@crest.ocn.ne.jp

http://kenkyoto.ngt.ed.jp/

http://www.kyotokai.jp/

TEL (025) 244-8225

FAX (025) 244-5060